

平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 建設管理課
 担当名: 土木積算・建設IT担当
 内線: 5199 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B102	建設工事関係積算システム改善費			一般会計	土木費	土木管理費	土木総務費	建設工事積算システム等維持管理費	
事業期間	平成18年度～	根拠法令	なし			宣言項目			
						分野施策			
<p>1 事業の概要</p> <p>土木積算システムを最適化することにより、積算業務の適正化、省力化、効率化を図る。</p> <p>(1) 土木積算システム改善費 入札差金などによる減額 △4,568千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業説明</p> <p>ア 土木積算システム改善費 23,556千円 土木積算システムの機能改善(情報公開対応など)、Windows10動作検証、設計条件の明確化</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>平成29年度</p> <p>ア 金額入り設計書の情報公開事務の効率化・負担軽減を図るための土木積算システムの機能改善を実施する。</p> <p>イ 公共工事の発注事務を円滑に進め、公共事業の進捗を図るため、土木工事等の入札事務におけるミスを防止することを目的とした土木積算システムの機能改善を実施する。</p> <p>ウ 平成30年度に導入される新しいOSのクライアントパソコンに対応するため、土木積算システムの動作テストを実施する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 増加・複雑化し、積算担当者の負担となっている「金額入り設計書」の情報公開にかかる作業を、土木積算システムで自動化することにより負担を軽減し、本来の重要な業務である現場監督業務等に力を注ぐことができる。</p> <p>イ 入札事務におけるミスを防止することで、公共工事の発注事務を円滑に進めることができ、公共事業の早期効果発現に貢献できる。</p> <p>ウ 新しいOSのクライアントパソコンが導入される際に、速やかにシステムが対応できる。</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>(1) 土木積算システム改善費: 入札差金および改修内容の見直しによる減額</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×1.5人=14,250千円 組織の新設、改廃及び増員 なし</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	△4,568							△4,568	18,988
現計額	23,556							23,556	